

## 2011年度 起業家養成講座（全6回）

下記日程で、リバティタワー1074番教室（7階）にて開催  
全学部学生対象 事前申込不要・受講料無料

### 第1回 10月3日(月) 18:00～19:30

高原 彬先生(株式会社 Art.Value 代表取締役)

テーマ「若手ベンチャー起業家が語る創業の心得と就業観」

※本学政治経済学部在学中から起業を目指し、卒業と同時に株式会社 Art.Value を創業。学生時代から創業に繋がる多様な人脈を構築すると同時に、企業経営に必要な財務管理能力、人脈形成能力、コミュニケーション能力を磨く。現在、全国の地場産品の販売する会員サイト「特選ジャポン」を運営し、地場産業振興に直結した販売代行業務を全国展開している。20歳代半ばの若手経営者が、起業の意義、自らの力で事業創造を遂げていく人生のあり方も含め、現在の事業について語る。

### 第2回 10月17日(月) 18:00～19:30

篠原正幸先生(しのはらプレスサービス株式会社 専務取締役)

テーマ「事業継承者が挑戦した社内改革と社員教育」

※しのはらプレスサービスは、プレス機を使ってモノづくりを行っている企業にとって、プレス機の修理、安全対策、機能向上、新機種導入などを行う際になくてはならない日本ナンバーワンの企業である。現、代表取締役社長の子息である篠原専務は、当社入社後、即、社長からまさにゼロからの人材採用と育成を命じられ、一人、独力で仕事をモノにしてきた。その後も、社内の経営革新に向けた改革にも、挑戦してきた。この講義では、事業継承者でありながら、創業者と変わらない取組を行ってきた経験に基づいて会社を作るとは何かについて、真実を語る。

### 第3回 11月7日(月) 18:00～19:30

小原敏治先生(小原歯車工業株式会社 代表取締役)

テーマ「3代75年、挑戦を続ける企業家からの若者へのメッセージ」

※埼玉県川口にて、世界トップの歯車メーカーを率いる若手経営者。この世の中に存在する機械に必ず使用されている歯車を、自社ブランド製品として全世界に送り届けるビジネスモデルを構築した。また、工場を動かしながら、最新鋭の工場への設備更新も実現し、同業者だけでは無く、異業種の企業からも注目を浴びている。また、徹底した5S活動を追求した世界トップの高品質実現など、老舗企業でありながら常に挑戦することを企業の真実について語る。

### 第4回 11月21日(月) 18:00～19:30

梅川真明先生(MSF 株式会社 代表取締役社長)

テーマ「若手創業者が語る大学生活の意義と今日の事業展開」

※携帯電話のサイト運営、ソフトウェア開発を主軸業務とし、現在ではサイト運営に留まらず、十勝サーキットの経営も手がける辣腕経営者。企業経営の傍ら、本学政治経済学部に入學し、経済と政治も学び、これからの企業経営に必要な素養も学んだ。企業経営と学問との両立、そこから学んだ奥深い教養等に基づいて学生生活の意義と今日の事業展開について語る。

### 第5回 12月5日(月) 18:00～19:30

瀬戸 明先生(燕商工会議所 総務課 参事)

テーマ「世界的地場産地へ燕三条に視る経営者の生き様」

※燕三条は駅名であって、本当は燕市と三条市である。両市は江戸時代に和釘の生産を開始し、その後、燕は鋸器銅器や矢立てなどをへて、ナイフやスプーンといった洋食器とハウスウェアへ、三条は農耕具から包丁、鋸、作業工具へとそれぞれ違う道を歩んできた。こうした事業転換は今日でも続き、現在では自動車や家電等の部品、アウトドアやスポーツ用品、屋内外エクステリア製品、福祉関連機器など、多様化は留まることは無い。こうしたことを具現化してきた燕三条の企業家たちのバイタリティとチャレンジ精神について、事例も交えて真実を紹介する。

### 第6回 12月19日(月) 18:00～19:30

栗原博文先生(狭山市産業労働センター センター長)

テーマ「中小企業支援機関が果たす次世代産業人材育成」

※埼玉県狭山市は、HONDA 埼玉製作所、コーセー狭山工場など、大企業の製造拠点だけではなく、多くの中小、中堅企業が集積している埼玉県内ナンバーワンの工業都市である。しかし、地域住民はベッタタウンとしての居住者が多く、地域産業への理解も乏しい。こうした環境のもと、地元の小、中、高等学校生を対象とした起業家育成プログラムを実践し、狭山市経済の将来の担い手育成に取り組んできた。本講義では、工業都市狭山の未来を築く取り組みとして、実際の起業家育成プログラムの実践事例を紹介する。